



特定非営利活動法人  
**富山県防災士会 会報**  
( NPO 法人日本防災士会・富山県支部 )

**第 29 号**  
令和 3 年 3 月 1 日  
発行 富山県防災士会  
連絡先 090-9762-8267  
(事務局長：佐伯)

**令和 2 元年度防災士研修会を開催**

～洪水ハザードマップのダウンスケーリングに向けて～



呉修一准教授

本年度の富山県防災士会研修会は、12月13日に、富山県立大学工学部環境・社会基礎工学科の呉修一准教授を講師に招き、「洪水ハザードマップのダウンスケーリングに向けて」をテーマに開催されました。

「ダウンスケーリング」とは、気象・気候学などで用いられる専門用語で、時空間解像度の粗いものを高解像度へと落とし込む作業のことです。つまりボンヤリとして曖昧な情報を、わかりやすい特定の情報に落としこむことで、しっかりと使いこなす作業のことです。

講演では、東北、西日本、中部で近年多発した自然災害、そしてそれを伝える報道のあり方とそれぞれの地域で関連自治体から関係住民への注意報や警報などの伝達のありかたについて説明があり、例えば2018年の西日本豪雨では夜中の浸水であり、1階で就寝中に死者が生じるケースが極めて多く報告されています。よって、リスクランク分類では、浸水深上昇速度（どれだけ早く水が深くなるか）、浸水継続時間（どれだけ長く水につかるのか）を考慮することで、水平避難が必要な危険ゾーンと垂直避難で十分なゾーンが分けられるとのことでした。

准教授の講演の中で私が一番感じたのは、映像の有効利用のことです。私たち防災士が減災と防災を伝えるのにもっと活用したいのは、災害時に、どのような行動と対応が必要なのかを出来るだけ映像など視覚に訴える資料で伝える事が出来れば今以上に分かりやすいのではと思います。

防災講習を希望される団体には、詳細なデータと資料を提示しての講習を望んでおられる方々も、大勢いらっしゃいますが、私が今まで担当した講習を振り返ると、講習会参加者の多くは高齢者の方でした。私も高齢者のみなさんの仲間として、「今までよりもっと分かりやすく映像を取り入れた講演にしてゆこう」と心新たにしました。(記 宮本)



**NHK スクープ BOX 講習会を開催**

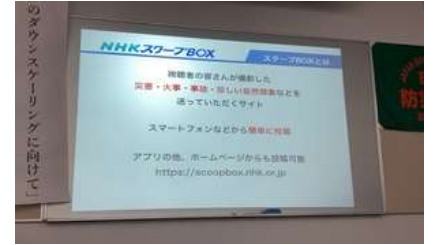
12月13日の研修会にあわせて「NHK スクープ BOX」の講習会が開催されました。

これは、富山県防災士会が、NHK 富山放送局と防災・減災に

向けた取り組みを推進させるため、2020年6月11日付で、連携協力に関する協定を締結したことに対応し、その活動の一環として、開催したものです。

「NHK スクープ BOX」とは、視聴者が撮影した災害・事故や、自然現象などの映像をNHKに投稿するためのツールです。講習会では、アプリのダウンロードから画像投稿までの一連の流れ、安全第一の原則、注意点、防災士による投稿方法についてご説明頂き、実際にスマートフォンを使用し投稿のテストを行っていただきました。みなさまもぜひ投稿してはいかがでしょうか？

尚、著作権は撮影者に属しますが、NHKは、利用規約に同意して投稿いただいたものは、期間の制限なく無償で利用し、それをういた番組等を保存することができます。(記 事務局)



**北信越支部連絡協議会研修会開催報告**



北信越支部連絡協議会研修会が10月11日に糸魚川市駅北広場キターレで開催されました。コロナ禍でもあり北信越各支部

より5名(計20名)の参加でした。

今回は、「2016年糸魚川市駅北大火と復興の状況」と題し、糸魚川復興まちづくり情報センターの野村裕太氏から復興まちづくり計画の概要について説明頂きました。また、大町区長の斎藤伸一さんからは出火当時の状況報告がありました。午後からは「まち歩き」をし、復興の状況をつぶさに見聞きました。

今回の大火で死者が出なかったことは、ご近所づきあいが良く要支援者の避難が出来たからだそうです。しかし、課題も多く自主防災組織の機能(体制の見直し)や、備蓄品・非常食の準備など事前しておくことの大切さがわかったとのこと。災害が起きてから知る事よりも事前に色々な災害を想定し備えることの必要性を感じたと報告されました。(記 島崎)

会 員  
自己紹介

防災士 西島 幸紀 (黒部市)



元は気象庁の(下っ端の)予報官で航空管制官に対して気象情報を提供する仕事をしていました。日々気象資料と接していると、これは大変と思うケースがあります。以前、850hPa で 340K 以上の相当温位の空気が強く流れ込む地域では大雨になるという話を研修会でしました。気象災害のポテンシャルが高まっていることが事前にわかれば、気象庁が発表する特別警報や土砂災害や洪水の危険度も説得力を持ちます。その一助になればと思い防災士になりました。

現在は風車のある入善浄化センターで電気主任技術者として働いています。休日は畑とバイク、たまに防災士、まれに気象予報士として活動しています。皆さんよろしくをお願いします。

第 2 回スキルアップ研修を開催



9月12日、オンラインで第2回スキルアップ研修が開催されました。参加者は40名で、小杉理事長の挨拶、新型コロナウイルス感染症対策避難所開設訓練の報告

の後、上田理事からは、呉羽山断層について、何がわかっていて、何がわかっていないか。どんな仮説や経験式に基づいて地震の大きさやずれ量などが計算されているか。30年の発生確率の持つ意味が、我々が日常で扱っている確率とは異なることや、自分で計算してみる方法も紹介されました。また講評として富山大学人文学部の大西宏治教授(当会参与)から、呉羽断層にかかわる最新知見のほか、視覚的に呉羽断層を捉える 3D 画像を見る方法などの補足を頂いています。

新型コロナウイルス感染症対策避難所開設訓練にかかわる資料や映像は富山県防災士会会員専用ページに公開されていますので、自身の学習にお役立てください。



大西教授の資料から  
呉羽山丘陵 3D

ご利用ください。日本防災士会特設サイト



日本防災士会のオフィシャルサイトでは、防災士活動情報サイトとして、各種講座実施のための基本ツールや役に立つ情報や講座資料が、Power

Point 版で掲載され、ダウンロードも可能です。講座資料をつくれる際など、活用できます。

Topics

会員の活動から

「防災かあ〜ちゃん富山」では、定期的にブログを発信しています。8月に行った Zoom でのオンライントーク「コロナ禍で富山に災害! 地域の方が全員助け合って逃げ遅れないようにするためには」や、「赤ちゃん」とママを守る防災講座レポート「受援力のススメ」など、ママにもご主人にも読んでいただきたい記事を掲載しています。

防災かあ〜ちゃん  
富山

防災士になったけど、  
まだまだひとりで  
活動する自信もない。  
だから、みんなで  
防災・減災について  
勉強しませんか?

※「防災かあ〜ちゃん富山」で検索。(記 大屋)

お知らせ: 年度会費の納入について

年会費は会報のご案内にお振込票を同封して、会員の継続をお願いしています。令和3年1月から3月末までにご入会された会員様の会費は次年度分として取り扱わせて頂きます。

なお、8月末までに年会費のお振込がない場合は、一時休会の手続きを取らせて頂きます。年会費をお振込頂きました時より、復会とさせていただきます。

★★ 私たちも応援しています ★★  
賛助会員 (1月現在)

- ・ 林建設(株)
- ・ 特定医療法人財団 五省会
- ・ テラビッツ(株)
- ・ (株)アイザック
- ・ エムアイビジョン(株)
- ・ こくみん共済富山推進本部
- ・ 宮本建築

※本会の目的に賛同・協力していただける賛助会員を募集しています。

★★ 富山県防災士会 連携協定団体 ★★

- ・ 一般社団法人 立山黒部ジオパーク協会
- ・ 日本放送協会 NHK 富山放送局
- ・ NPO 法人 Nプロジェクトひと・みち・まち